

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町 3-11-8 (武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
支局 大阪市北区大淀北 1-3-18
〒531-0077 TEL 06-6451-4495
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円 (消費税別)

Yamato
業界初の振動除去機能を
搭載で作業効率アップ
デジタル式皿自動はかり

“UDS-1V/1VD”



大和製衡株式会社
電話 明石(078)918-5577

募集価格は1823円であり、二部上場を記念して、1株当たり2円50銭の上場記念配当を行うことも明らかになった。

器工場(長野県上田市)の圧力計自動化設備に6億1300万円など(自己資金、借入金を含む)。同社では、1株を1・1株に分割する株式分割を99年以降6年連続実施するなど、株主還元を経営の重要施策に掲げている。好調を反映して、04年11月に発表した05年3月期の期末配当予想を、7円50銭から15円(上場記念配当を含む)に増額して修正した。

長野計器が東証二部上場 新株式発行 半導体向け圧力計、圧力センサが好調

募集価格1823円 増資分は活発な設備投資に

本紙2月6日号で既報の通り、長野計器(株)(大田区東馬込1-30-4、宮下茂社長)は2月22日に東京証券取引所市場第一部に上場する。上場にもない増資も行う。公募による新株式発行は100万株で、株式コードは7715。同社は、2005年3月期は過去最高益に達する見込みであることも発表した。期末配当の増額も行われる。



宮下茂社長

同社の創立は1948(昭和23)年(創業は1896(明治29)年)。主な事業は圧力計および圧力センサの製造・販売で、なかでも機械式圧力計は国内シェア60%以上で、世界でもトップクラスにある。95年にISO90

01取得、98年12月にジャスタック上場、2000年にISO14001を取得した。薄型テレビや携帯電話



の需要を背景に、半導体向けの圧力計、圧力セン

サの販売が好調を維持している。国内の堅調な設備投資動向に加え、欧米向けの建設機械用圧力センサや、中国の電力用圧力計も需要が続いている。業績も順調に推移し、

K-2型防水式

ばね式指示はかり
専門メーカー

富士計器製造(株)
e-mail: kb571338@magic.matrics.or.jp
相生 027(43)4555

今回の上場は、投資家や取引先からの信用度を高めるのが狙い。新株式発行は100万株で、市場の需給動向によって、オーバースhootメント(株主より借り受けの株)による売出しも15万株を上限に行われる。

JCSSに係る計量法改正 パブリックコメント募集 2月17日締切

経済産業省は、計量法の一部が2004年12月22日に改正されたことにより、関連する省令を改正するための「計量法施行規則及び基準器検査規則の一部を改正する省令案」を取りまとめた。

これに対する意見(パブリックコメント)を2月17日(木)まで募集している。郵送の場合は同日必着、FAX、電子メールは同日午後6時まで。主な改正点は、JCSS認定事業者が登録事業者になることによる登録や新たに導入した更新の申請方法、JCSS登録区分の追加・変更、登録や更新時の手数料の改定など。

ダウンロードできる(PDF形式)。パブリックコメントの送り先は経済産業省産業技術環境局知的基盤課宛て。FAXは03-3501-7851、電子メールはpaggcbn@meti.go.jp

日本包装機械工業会 が事務所移転

(社)日本包装機械工業会は、1月より事務所を移転した。新住所は〒104-0033、東京都中央区新川2-5-6、包装機械会館3階。電話03-6222-2227、FAX03-6222-2280

連工計 米國法定計量システムに関する講演会開催 2月21日、東京・グランドヒル市ヶ谷で

(社)日本計量機器工業連合会(計工連)は2月21日(月)、東京・グランドヒル市ヶ谷で、米国における型式試験、検定検査等に関する講演会を開催する。現在では、経済活動の

グローバル化に伴い、国際的な地域間の協力や基準認証制度の統一、相互承認への取り組みが行われている。OIML型式評価に関する相互承認意(MAA)が一昨秋のC-ML(国際法定計

量委員会)京都会議で採択されるなど、その重要性が注目されている。同会では海外の計量関係者を招き、その動向を調査・把握している。今回は米国から、Stephane A. Patoray氏を招

今週の主な記事

- ① 長野計器東証二部上場、計工連米國法定計量講演会を開催
- ② 計量法改正パブリックコメント募集、事務所移転
- ③ 産総研・長き標準器遠隔校正に成功
- ④ 寄稿・中田均氏、会報紹介、セミナー紹介
- ⑤ 計量各界の新年交歓会
- ⑥ 資料「JCSS事業の発展にむけて」の種類の定まる規程
- ⑦ あいち計測研究会座談会
- ⑧ 私の履歴書・齋藤勝夫氏、社説「新計量心くちま
- ⑨ 新製品「1」ス、計量器展覧会、計量器展覧会、計量器展覧会